

件名	柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動機構と制御棒の結合不良について
通報日	平成20年6月27日
概要	<p>当社・柏崎刈羽原子力発電所6号機（改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット）は、平成19年5月24日から第8回定期検査を実施しておりますが、平成20年6月2日より制御棒駆動機構（全205体）の地震後健全性確認作動試験*1を行っていたところ、本日、1体の制御棒駆動機構が制御棒*2と結合していないことがわかり、法令*3にもとづく報告事象と判断いたしましたのでお知らせいたします。</p> <p>現在、原子炉内の燃料はすべて取り出し済みであり、安全上の問題はありません。また、残りの204体の制御棒駆動機構については、制御棒と結合していることを確認しております。</p> <p>なお、水中カメラにより当該結合部の損傷の有無を確認したところ、当該結合部に損傷はないことを確認したことから、中越沖地震との関連性はないものと考えております。今後、詳細に原因を調査いたします。</p> <p>*1 制御棒駆動機構（全205体）の地震後健全性確認作動試験 地震後の設備点検のうち、制御棒駆動機構の基本点検として動作確認等を実施して健全性を確認する試験。</p> <p>*2 制御棒 当該制御棒は今回の定期検査において交換したものであり、地震発生時には定期検査中で制御棒は全て挿入された状態であった。</p> <p>*3 法令 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則。</p> <p>（平成20年6月27日 プレス発表内容） <a href="http://www.tepco.co.jp/cc/press/08062701-j.html">http://www.tepco.co.jp/cc/press/08062701-j.html</a></p>